

# 第56回 景気動向アンケート報告

(2020年1月～4月期)

<新型コロナ禍による景況悪化、如実に示す業況DI▲20へ下落>

## 1. 概況

### 1) 全体業況

- ・ 今期実績は、▲20で、前期比▲37ポイント、前年同期比▲41ポイント
- ・ 来期予測は、▲51で、今期比▲31ポイント、前年同期比▲66ポイント
- ・ 今期実績▲20は、2012年5-8期以来23期(約8年)ぶりのマイナスとなった

① 今期DIは▲20で、2012年9-12期以来22期連続となっていたDI値のプラス領域での推移は、断絶した。また、前回予測(+17)から大幅に外れた実績値となった。

来期DI予測は▲51と、更に下げる見通しである。

② DIの年3期平均値は、2019年は、+17.7で、前年2018年比+3.7ポイントと好転していたが、2020年は、残念ながら、かなりの悪化が危惧される。

### 2) 業種別の概況 (以下、事業所向サービスを「事サ」、個人向サービスを「個サ」と記す)

- ・ 製造は、今期実績▲18で、前期比▲18ポイント、前年同期比▲11ポイント
- ・ 建設は、今期実績▲17で、前期比▲62ポイント、前年同期比▲61ポイント
- ・ 卸売は、今期実績±0で、前期比▲29ポイント、前年同期比▲14ポイント
- ・ 小売は、今期実績±0で、前期比+9ポイント、前年同期比+17ポイント
- ・ 事サは、今期実績+11で、前期比▲7ポイント、前年同期比▲12ポイント
- ・ 個サは、今期実績▲44で、前期比▲44ポイント、前年同期比▲67ポイント
- ・ 来期予測は、製造▲64、建設▲30、卸売▲100、小売▲67、事サ▲25、個サ▲80

① 今期実績±0以上は、卸売、小売、事サの3業種。他の3業種(製造、建設、個サ)はマイナス。特出すべきは、小売業。前回調査における今期予測は、前期比▲9ポイント、前年同期比▲1ポイントの▲18であったが、実際の今期実績は、全6業種中唯一、前期比(+9)、前年同期比(+17)ともにプラスの実績結果となった。小売業を営む分析委員によると「マスク、消毒液、その他の買いだめ現象等に象徴される新型コロナ禍中ならではの特殊な需要増が影響したのではないか」との事であった。

② 来期予測は、全業種マイナスを予測。DI値は、+100～▲100の間で推移するものであることを考えると、卸売業▲100、個サ▲80という予測は、マイナス側に振り切ってしまうている。この点、個別企業の事情を離れた全体の景況悪化を顕している。

### 3) 個別指標の概況 (詳細な数値は、別添資料)

- ① 全体、小売業を除く各業種とも、売上、収益、資金繰りの悪化が連動して、業況判断の悪化判断となっている。
- ② ただ、今回の小売業は別で、売上は低下しているが、収益、資金繰りが改善し、業況判断が唯一改善した。この点、分析会議では、「消費税率Up等の影響もあり、売上は悪化しながらも、収益率の良い製品(新型コロナ禍中のマスクが典型例)が伸び、収益と資金繰りを改善したと説明できるのではないか」との意見が出された。

## 2. 分析会議での議論

- ① 前回調査で、消費税率Upのダメージ面を考慮しつつも+17を予測していた本調査からすると、今回の景気判断急落(DI▲20)は、次回調査結果次第では「新型コロナ・ショック」とでも表現しなければならない程の「落ち込みぶり」(3. 参照)である。
- ② 分析会議では、「過去、誰も経験したことのない自然災害であり、不安の払拭は至難である」「影響の長期化が指摘されるどころ、中小企業家にとっては、かなり困難な状況が続くと予想される」「適切な政策を要望、活用しつつ、次の一手を模索する」等の意見、感想が出された。

## 3. 過去10年間の悪化幅ランキング

### 1) 前期比悪化幅のランキング

順位	悪化幅	比較期間
1位	▲37 (今回)	2019年9-12月 (+17) ⇒2020年1-4月期 (▲20)
2位	▲25	2012年1-4月 (+19) ⇒2012年5-8月期 (▲6)
3位	▲21	2010年1-4月 (▲1) ⇒2010年5-8月期 (▲22)
4位	▲18	2017年9-12月 (+30) ⇒2018年1-4月期 (+12)
5位	▲15	2014年1-4月 (+24) ⇒2014年5-8月期 (+9)

### 2) 前年同期比悪化幅のランキング

順位	悪化幅	比較期間
1位	▲41 (今回)	2019年1-4月 (+21) ⇒2020年1-4月期 (▲20)
2位	▲20	2013年9-12月 (+26) ⇒2014年9-12月期 (+6)
3位	▲12	2017年1-4月 (+24) ⇒2018年1-4月期 (+12)
3位	▲12	2014年1-4月 (+24) ⇒2015年1-4月期 (+12)
3位	▲12	2010年1-4月 (▲1) ⇒2011年1-4月期 (▲13)

#### 4. 2010年以降の全体業況判断DIの推移

年	1-4月	5-8月	9-12月	年3期平均値
2010	▲1(+32)	▲22(+7)	▲7(+22)	▲10.0(－)
2011	▲13(▲12)	▲13(+9)	+7(+14)	▲6.3(+3.7)
2012	+19(+32)	▲6(+7)	+4(▲3)	+5.7(+12.0)
2013	+8(▲11)	+16(+22)	+26(+22)	+16.7(+11.0)
2014	+24(+16)	+9(▲7)	+6(▲20)	+13.0(▲3.7)
2015	+12(▲12)	+5(▲4)	+24(+18)	+13.7(+0.7)
2016	+11(▲1)	+12(+7)	+15(▲9)	+12.7(▲1.0)
2017	+24(+13)	+12(±0)	+30(+15)	+22.0(+9.3)
2018	+12(▲12)	+5(▲7)	前年同期+25(▲5)	+14.0(▲8.0)
2019	+21(+9)	前期+15(+10)	+17(▲8)	+17.7(+3.7)
2020	今期▲20(▲41)	来期予測▲51(▲66)	－	－

※ ( ) の数字は、前年同期比の増減

### 概 要

#### ○経営上の問題点

別添資料の通り。1位は「売上の減少」、2位は「価格競争の激化」、3位は「受注競争の激化」。「人件費増加」、「従業員の不足」は、TOP3から外れた。

前々回、前回と「売上の減少」がじわりじわりと上昇してきていたが、前回103社中24社(23.3%)から今回101社中の過半数51社(50.5%)へと倍増した。消費税率Upのダメージ面と新型コロナ禍が不幸にも時期的に重なったことが影響していると説明せざるを得ない。

#### ○経営上の力点

別添資料の通り。TOP1～4は、過去4回全く変わらず、「付加価値の増大」、「新規受注(顧客)の確保」、「人材確保」、「社員教育」であったが、今回は「人材確保」が落ち、「財務体質の強化」が入った。景況悪化予測の下、経営維持・安定志向が高まったものと推測される。

#### ○新型コロナ自粛等の影響について

別添資料の通り。全体の2割強から4割程度の全般的に比較的不安の少ない企業家もおられる一方、既に深刻な事態は始まっていると考えられる。資金余裕度「今逼迫している」4社、雇用維持「既に休業、解雇等検討実施」2社、当面の売上「既に売上減少となっている」30社、当面の税負担「全く税負担できない」3社。そして各設問、今ではないが、「数か月先が不安」という企業家が3割強から6割程度存在する。

(経営上の問題点で「売上の減少」をあげたのは51社、当面の売上についての本設問で「既に売上減少となっている」が30社と、一見ばらつきが出た。今後は、経営上の問題点の回答中には、今だけではなく、少し広い範囲での危惧も含まれている点、注意する必要がある)

本調査での売上減少についての設問で、前回、今回調査の結果は、次の通り。

調査時期		調査対象数	売上減の回答数		%
前回	2019年9-12月期	103社	実際に売上減	10社	9.7%
今回	2020年1-4月期	101社	既に売上減少	30社	29.7%

(なお、今回から実施した売上増減幅の「前期比今回実感」「今期比来期予測」についての分析は、次回以降の報告に譲ることとする)

○市民、他の企業家、当会、行政等に対して伝えたいメッセージ(連帯、要望)について

別添資料の通り。多数の連帯メッセージ、決意、各方面への要望等の意見を頂いた。当分析委員会からも、ご回答頂いた企業家はじめ、各方面の関係者の方々に感謝、そして協力して今回の景気悪化の局面を乗り越えていく覚悟と連帯の言葉を贈ります。頑張りましょう!

1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業(101社)
2. 対象期間 2020年1月～4月期実績、2020年5月～8月見通し
3. 調査方法 FAX
4. 回答企業数 101社より回答を得た(回答率 21.3%)

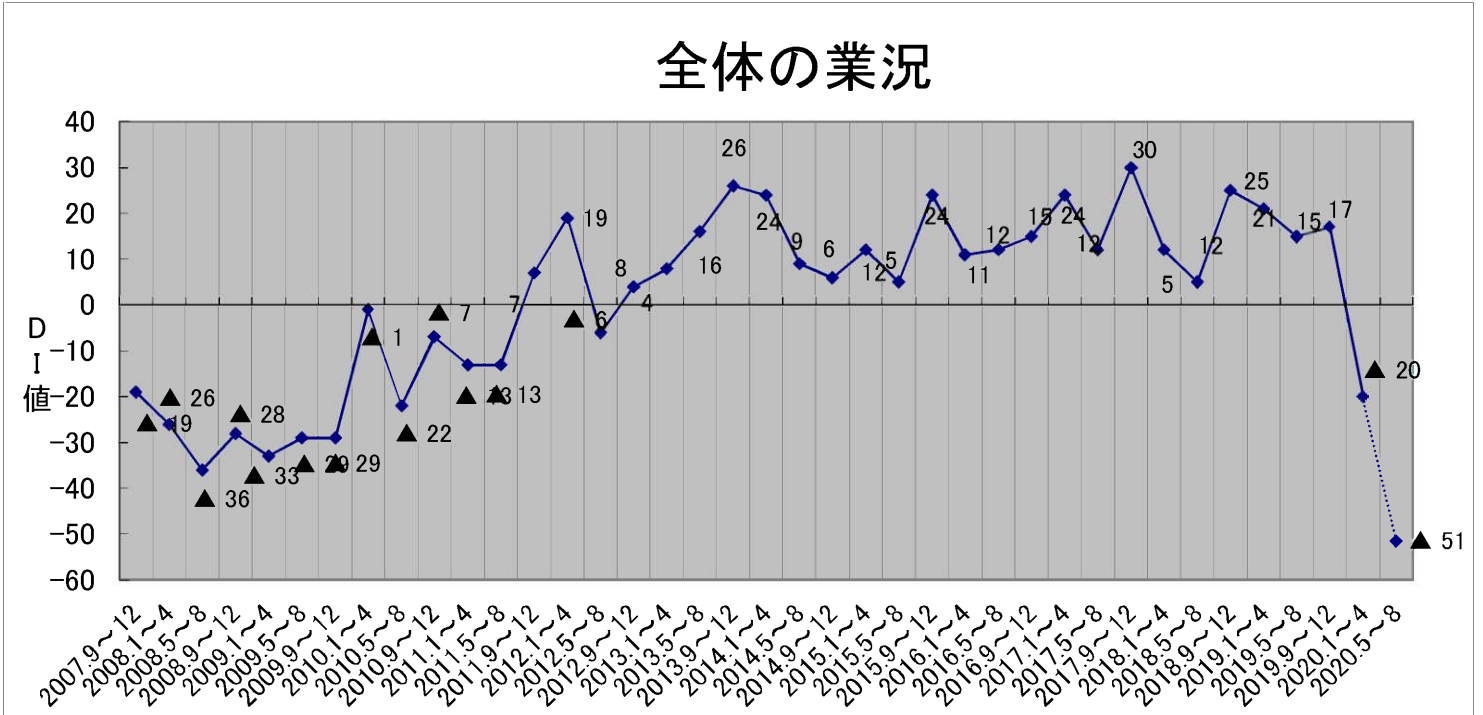
※回答企業数100社以上は、第53回調査以降4回連続です。

ご協力を頂いた会員の皆様に感謝いたしますとともに、次回以降もご協力お願い致します。

(なお、今回当分析においても、密を避けるため、Zoomによる「リモート会議」にて実施した)

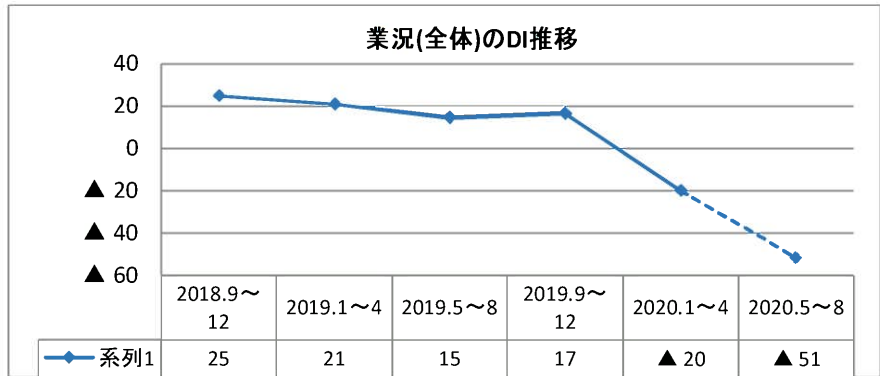


# 全体の業況

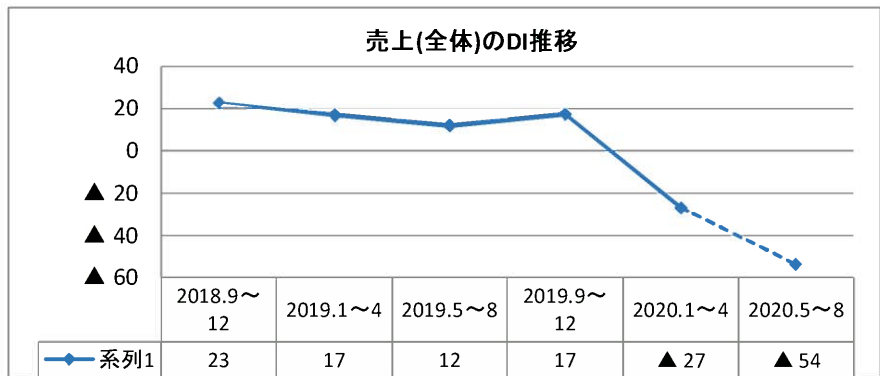


# 全体

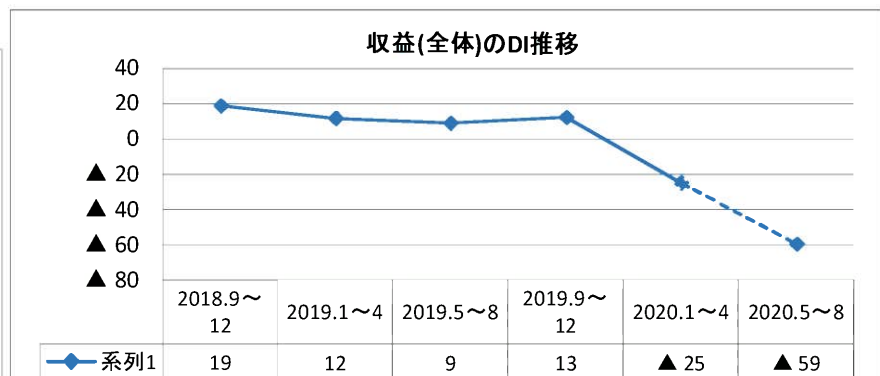
今期の業況は「良い」20.8%、「変わらず」38.6%、「悪い」40.6%でD.I.▲19.8となっており、非常に大きく下降しました。  
来期の業況はD.I.▲51.4と非常に大きく下降する見通しです。



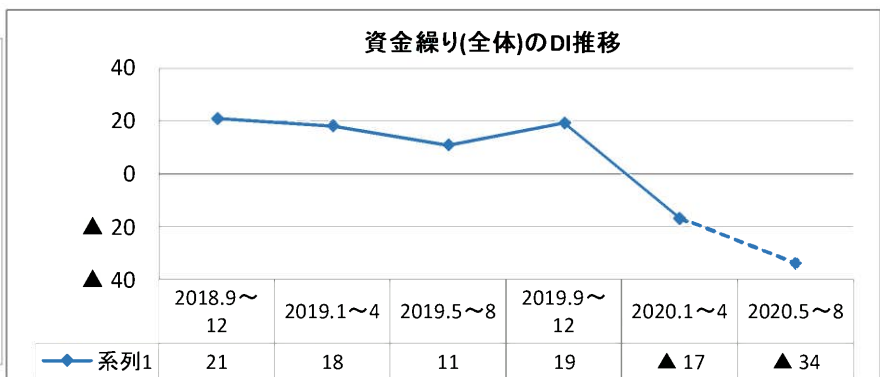
今期の売上は「良い」19.8%、「変わらず」33.7%、「悪い」46.5%でD.I.▲26.7となっており、非常に大きく下降しました。  
来期の売上はD.I.▲53.5と非常に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」20.8%、「変わらず」33.7%、「悪い」45.5%でD.I.▲24.8となっており、非常に大きく下降しました。  
来期の収益はD.I.▲59.4と非常に大きく下降する見通しです。

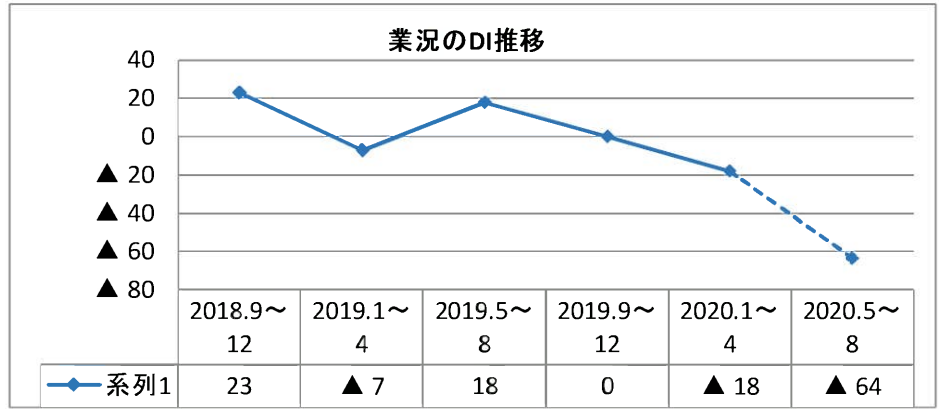


今期の資金繰りは「良い」14.9%、「変わらず」53.5%、「悪い」31.6%でD.I.▲16.8となっており、非常に大きく下降しました。  
来期の資金繰りはD.I.▲33.7と大きく下降する見通しです。

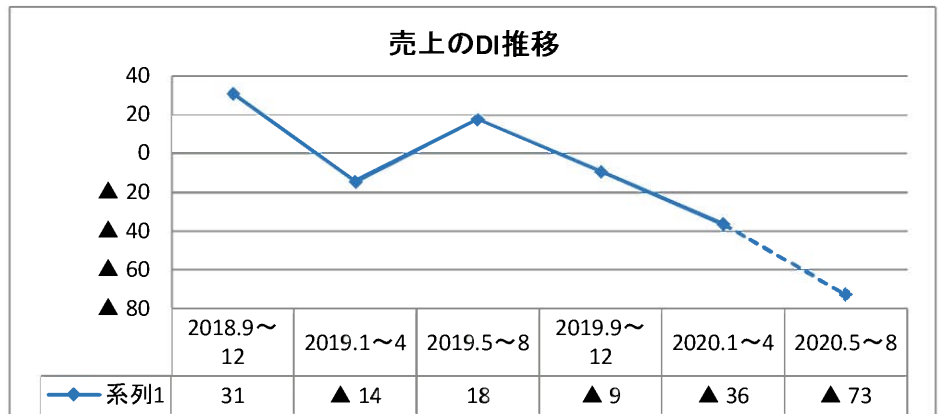


# 製造業

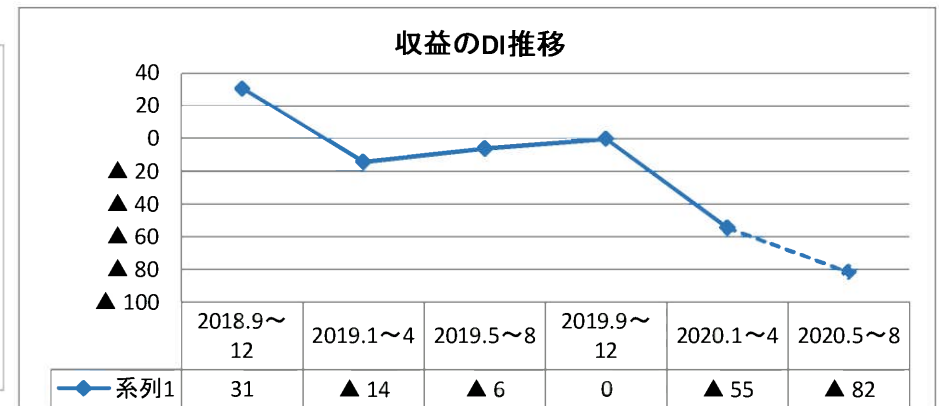
今期の況は「良い」18.2%、「変わらず」45.5%、「悪い」36.3%でD.I.▲18.2となっており、前期に比べ大きく下降しました。  
来期の業況はD.I.▲63.6と非常に大きく下降する見通しです。



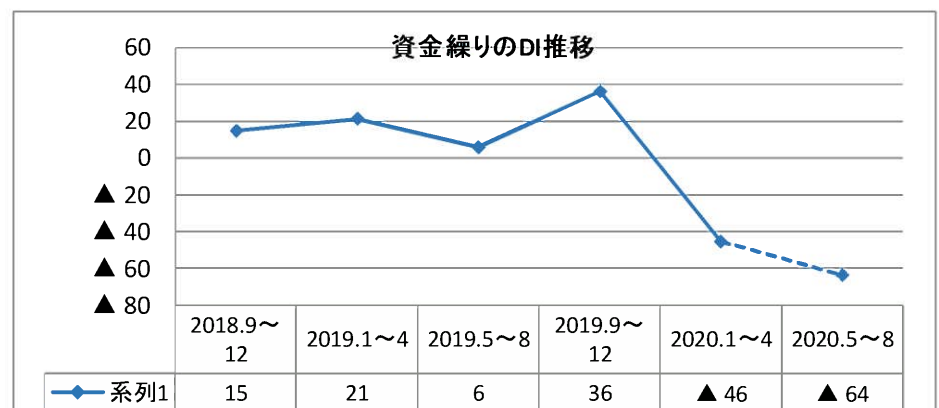
今期の売上は「良い」18.2%、「変わらず」27.3%、「悪い」54.5%でD.I.▲36.4となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の売上はD.I.▲72.7と非常に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」18.2%、「変わらず」9.1%、「悪い」72.7%でD.I.▲54.5となっており、非常に大きく下降しました。  
来期の収益はD.I.▲81.8と非常に大きく下降する見通しです。



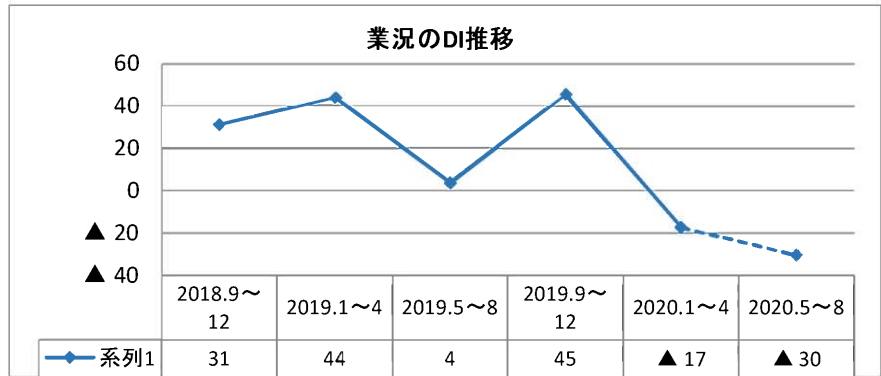
今期の資金繰りは「良い」0%、「変わらず」54.5%、「悪い」45.5%でD.I.▲45.5となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の資金繰りはD.I.▲63.6と大きく下降する見通しです。



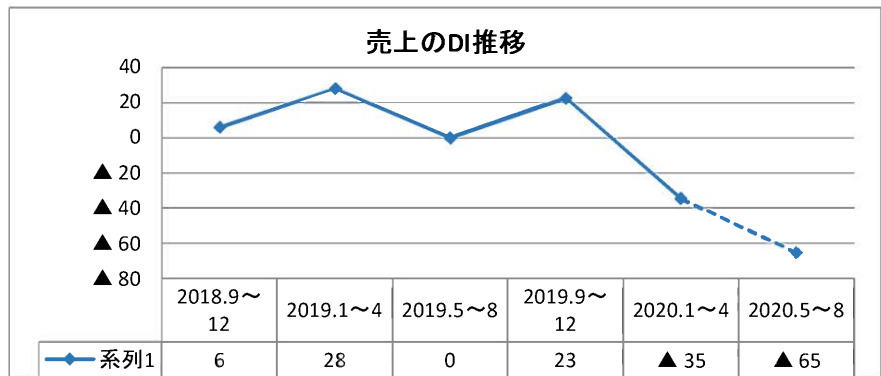


# 建設業

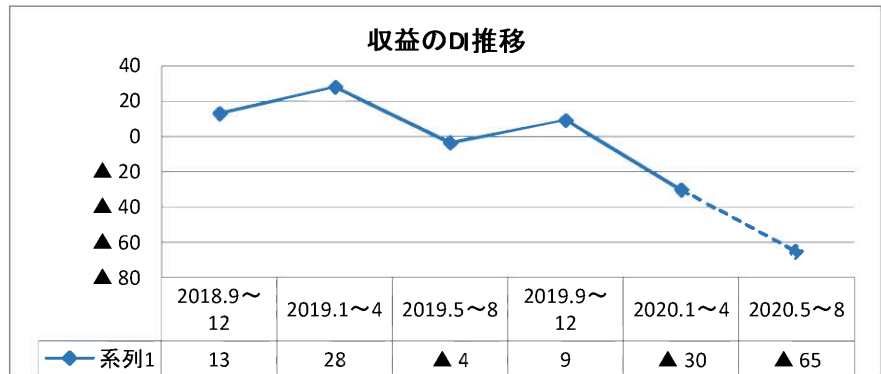
今期の業況は「良い」17.4%、「変わらず」47.8%、「悪い」34.8%でD.I.▲17.4となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の業況はD.I.▲30.4と下降する見通しです。



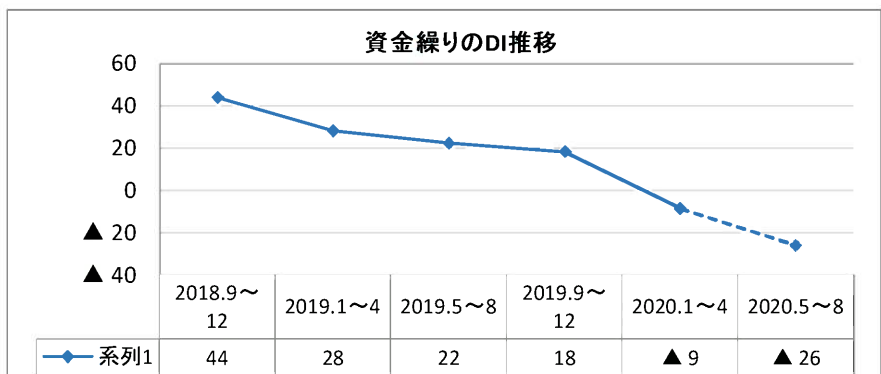
今期の売上は「良い」13.0%、「変わらず」39.1%、「悪い」47.9%でD.I.▲34.8となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の売上はD.I.▲65.2と非常に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」17.4%、「変わらず」34.8%、「悪い」47.8%でD.I.▲30.4となっており、前期と比べて非常に大きく下降しました。  
来期の収益はD.I.▲65.2と非常に大きく下降する見通しです。

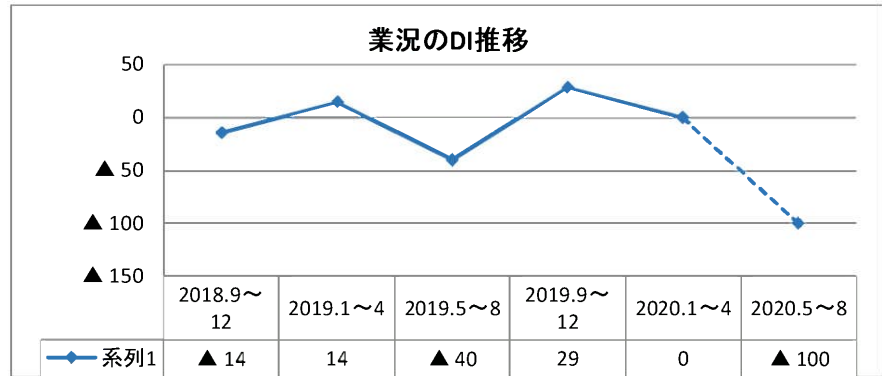


今期の資金繰りは「良い」17.4%、「変わらず」56.5%、「悪い」26.1%でD.I.▲8.7となっており、大きく下降しました。  
来期の資金繰りはD.I.▲26.1と大きく下降する見通しです。

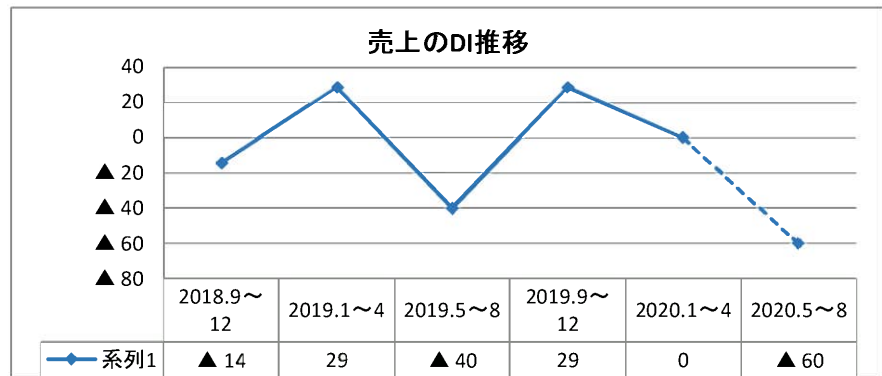


# 卸売業

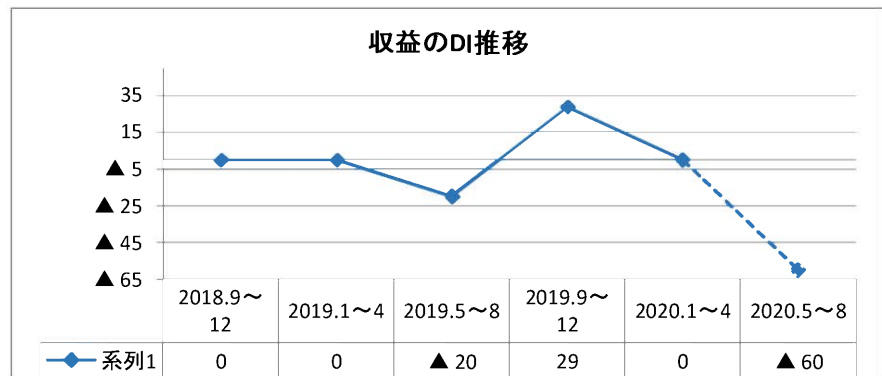
今期の業況は「良い」40.0%、「変わらず」20.0%、「悪い」40.0%でD.I.0となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の業況はD.I.▲100.0と非常に大きく下降する見通しです。



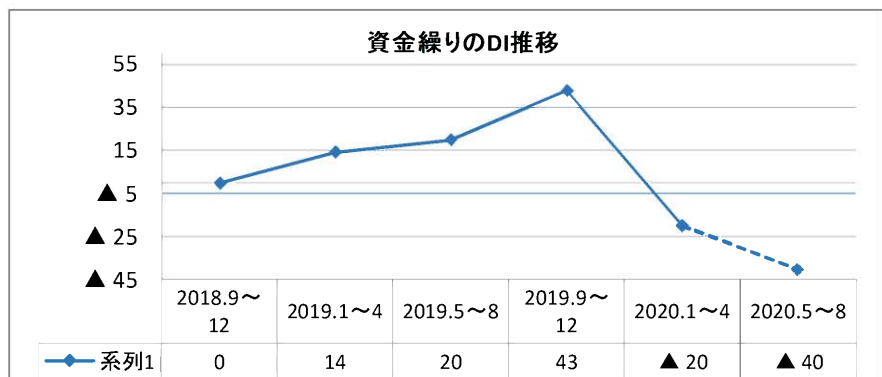
今期の売上は「良い」40.0%、「変わらず」20.0%、「悪い」40.0%でD.I.0となっており、前期に比べ大きく下降しました。  
来期の売上はD.I.▲60.0と非常に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」40.0%、「変わらず」20.0%、「悪い」40.0%でD.I.0となっており、前期に比べ大きく下降しました。  
来期の収益はD.I.▲60.0と非常に大きく下降する見通しです。

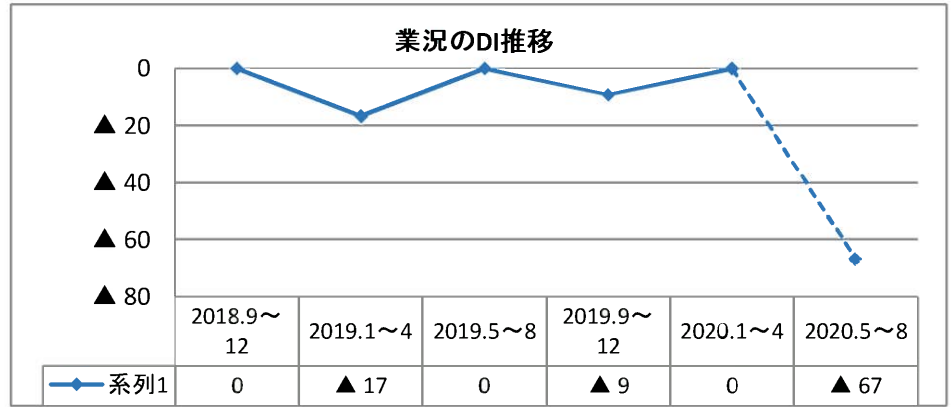


今期の資金繰りは「良い」20.0%、「変わらず」40.0%、「悪い」20.0%でD.I.▲20.0となっており、前期に比べ非常に大きく下降しました。  
来期の資金繰りはD.I.▲40.0と大きく下降する見通しです。

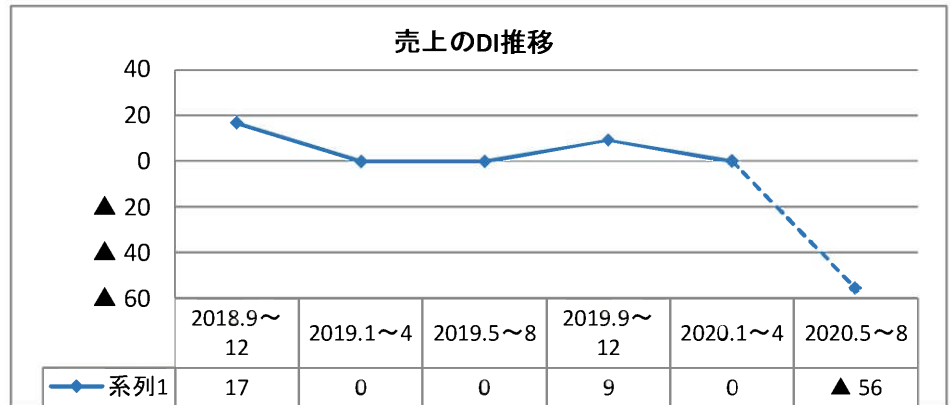


# 小売業

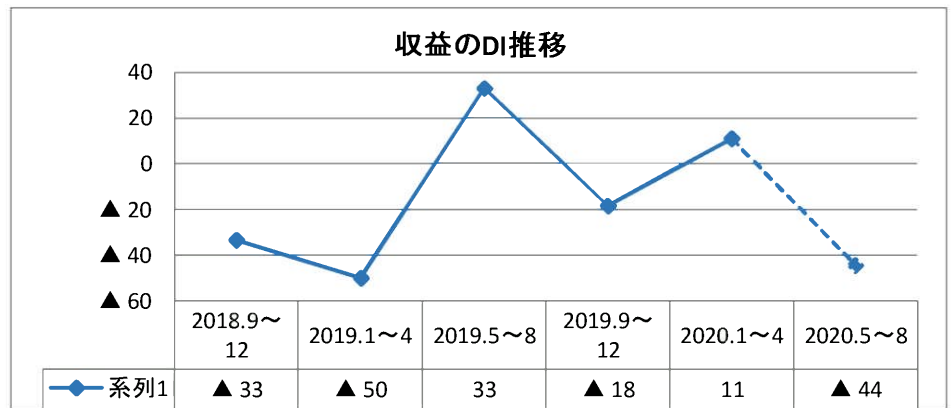
今期の業況は「良い」33.3%、「変わらず」33.3%、「悪い」33.3%でD.I.0となっており、前期並みでした。来期の業況はD.I.▲66.7と非常に大きく下降する見通しです。



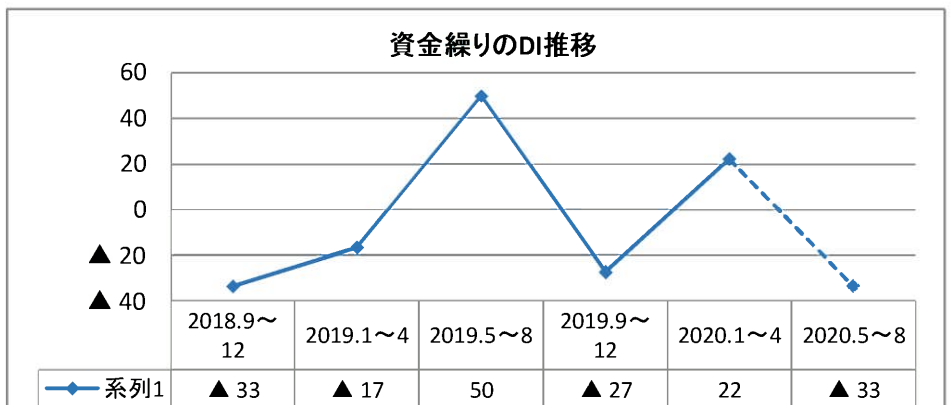
今期の売上は「良い」33.3%、「変わらず」33.3%、「悪い」33.3%でD.I.0となっており、前期並みでした。来期の売上はD.I.▲55.6と非常に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」33.3%、「変わらず」44.5%、「悪い」22.2%でD.I.11.1となっており、前期に比べ大きく上昇しました。来期の収益はD.I.▲44.4と非常に大きく下降する見通しです。



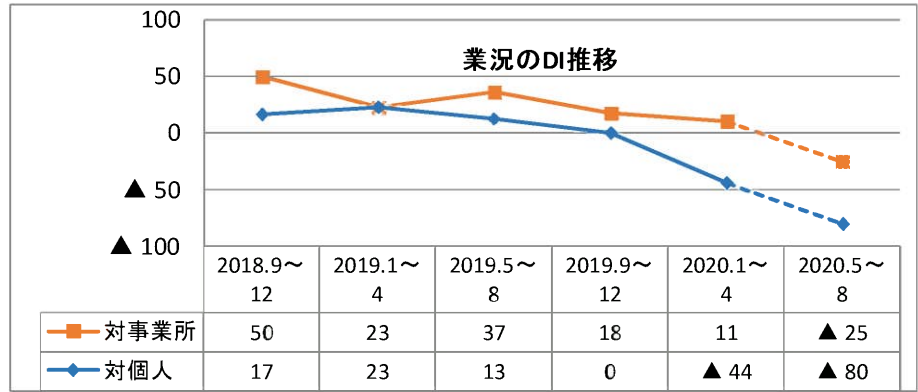
今期の資金繰りは「良い」33.3%、「変わらず」55.6%、「悪い」11.1%でD.I.22.2となっており、前期に比べ非常に大きく上昇しました。来期の資金繰りはD.I.▲33.3と非常に大きく下降する見通しです。



# サービス業

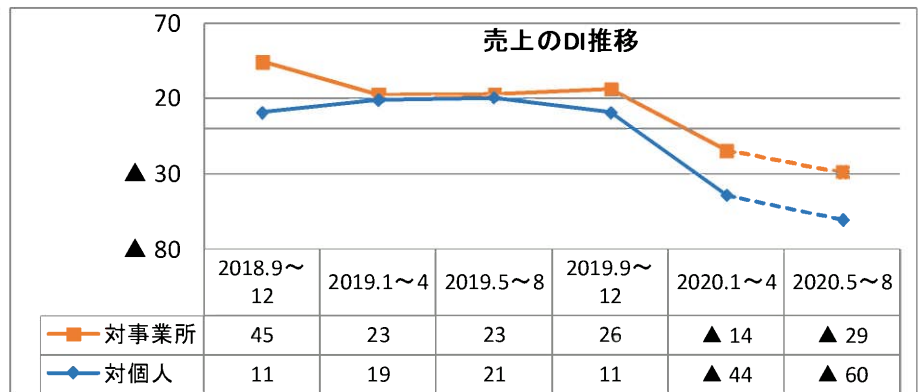
今期の対事業所向けの業況は「良い」21.4%、「変わらず」46.5%、「悪い」32.1%でD.I.10.7となっており、前期と比べ下降しました。来期の業況はD.I.▲25.0と非常に大きく下降する見通しです。

今期の対個人向けの業況は「良い」16.0%、「変わらず」24.0%、「悪い」60.0%でD.I.▲44.0となっており、前期と比べ非常に大きく下降しました。来期の業況はD.I.▲80.0と大きく下降する見通しです。



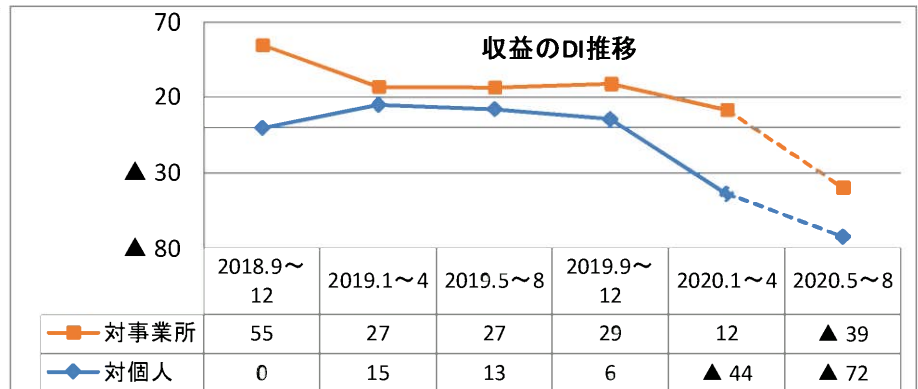
今期の対事業所向けの売上は「良い」21.4%、「変わらず」42.9%、「悪い」35.7%でD.I.▲14.3となっており、非常に大きく下降しました。来期の売上はD.I.▲28.6と下降する見通しです。

今期の対個人向けの売上は「良い」16.0%、「変わらず」24.0%、「悪い」60.0%でD.I.▲44.0となっており、非常に大きく下降しました。来期の売上はD.I.▲60.0と下降する見通しです。

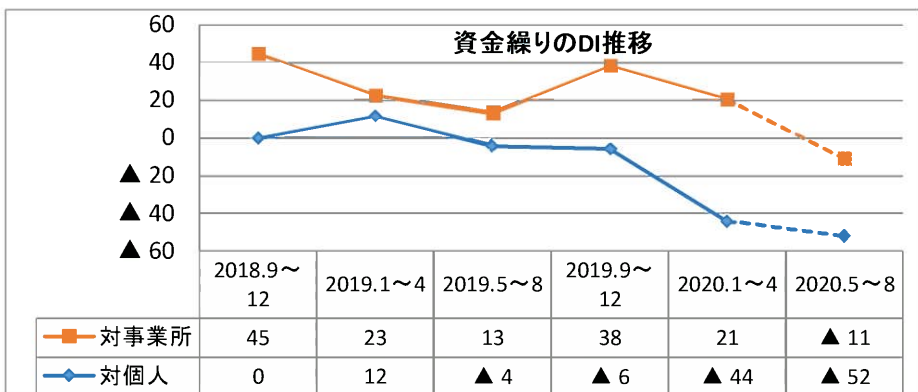


今期の対事業所向けの収益は「良い」25.0%、「変わらず」42.9%、「悪い」32.1%でD.I.▲7.1となっており、前期並みでした。来期の収益はD.I.▲39.3と下降する見通しです。

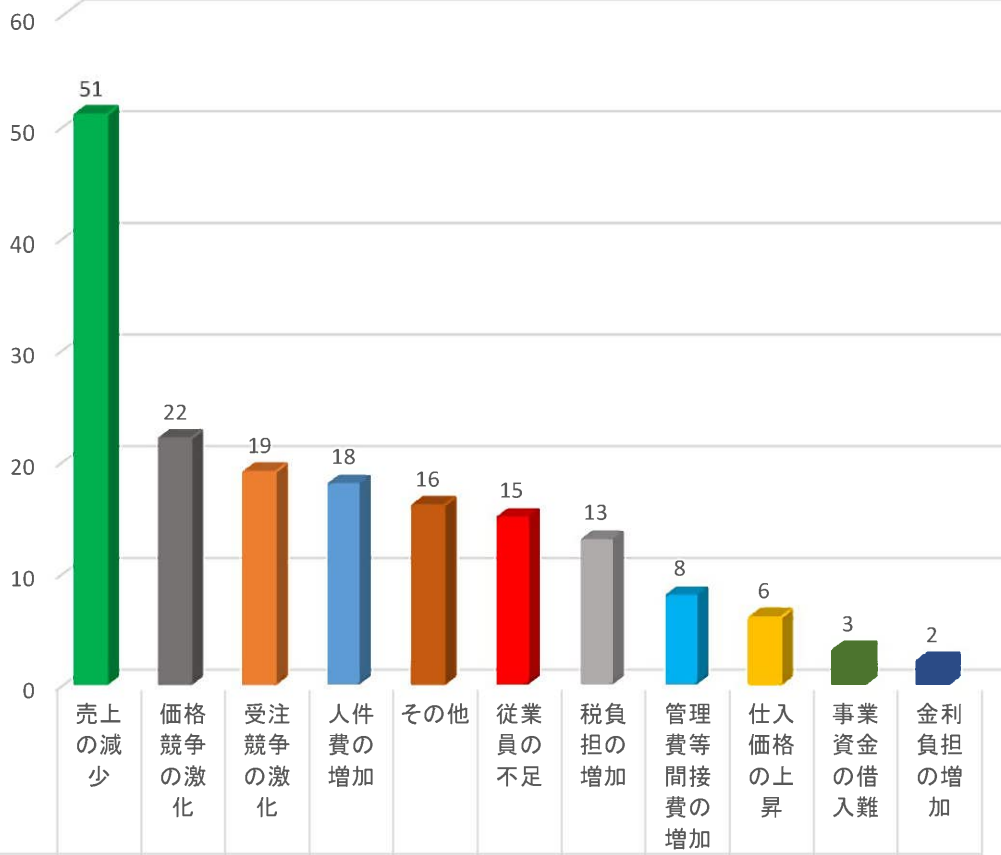
今期の対個人向けの収益は「良い」12.0%、「変わらず」32.0%、「悪い」56.0%でD.I.▲44.0となっており、非常に大きく下降しました。来期の収益はD.I.▲72.0と非常に大きく下降する見通しです。



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」17.9%、「変わらず」64.2%、「悪い」17.9%でD.I.0となっており、前期と比べ大きく上昇しました。来期の資金繰りはD.I.▲10.7と下降する見通しです。今期の対個人向けの資金繰りは「良い」8.0%、「変わらず」40.0%、「悪い」52.0%でD.I.▲44.0となっており、大きく下降しました。来期はD.I.▲52.0と非常に下降する見通しです。



## 経営上の問題点



■ 件数	51	22	19	18	16	15	13	8	6	3	2
■ ウェイト	29.5%	12.7%	11.0%	10.4%	9.2%	8.7%	7.5%	4.6%	3.5%	1.7%	1.2%

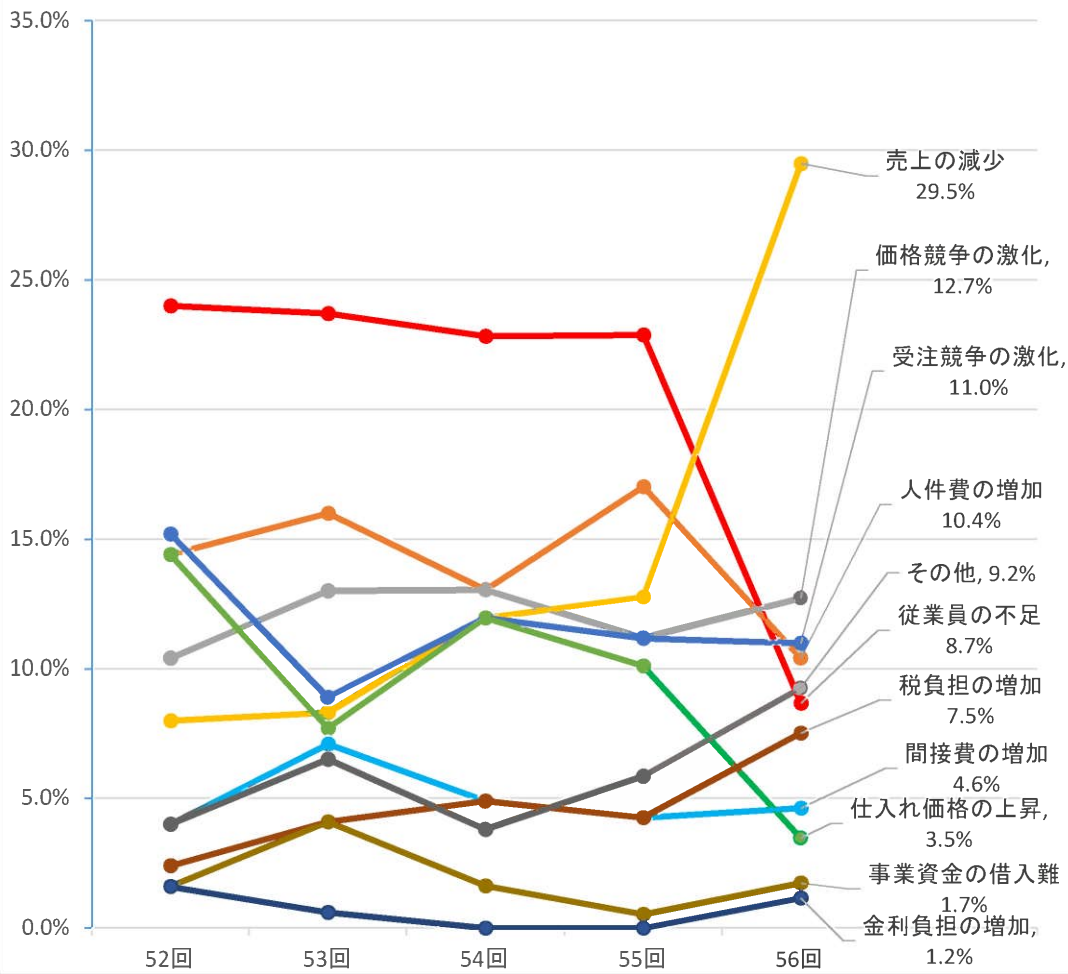
	件数	ウェイト
売上の減少	51	29.5%
価格競争の激化	22	12.7%
受注競争の激化	19	11.0%
人件費の増加	18	10.4%
その他	16	9.2%
従業員の不足	15	8.7%
税負担の増加	13	7.5%
管理費等間接費の増加	8	4.6%
仕入価格の上昇	6	3.5%
事業資金の借入難	3	1.7%
金利負担の増加	2	1.2%
<b>合計</b>	<b>173</b>	<b>100.0%</b>

### その他

コロナ影響  
 コロナの影響でまだ予測出来ない。  
 会社の自粛休業  
 企業の自粛要請の拡大  
 業務の効率化  
 先行きの不安定化、社会全体の不安感、予想不可  
 コロナウイルスの影響

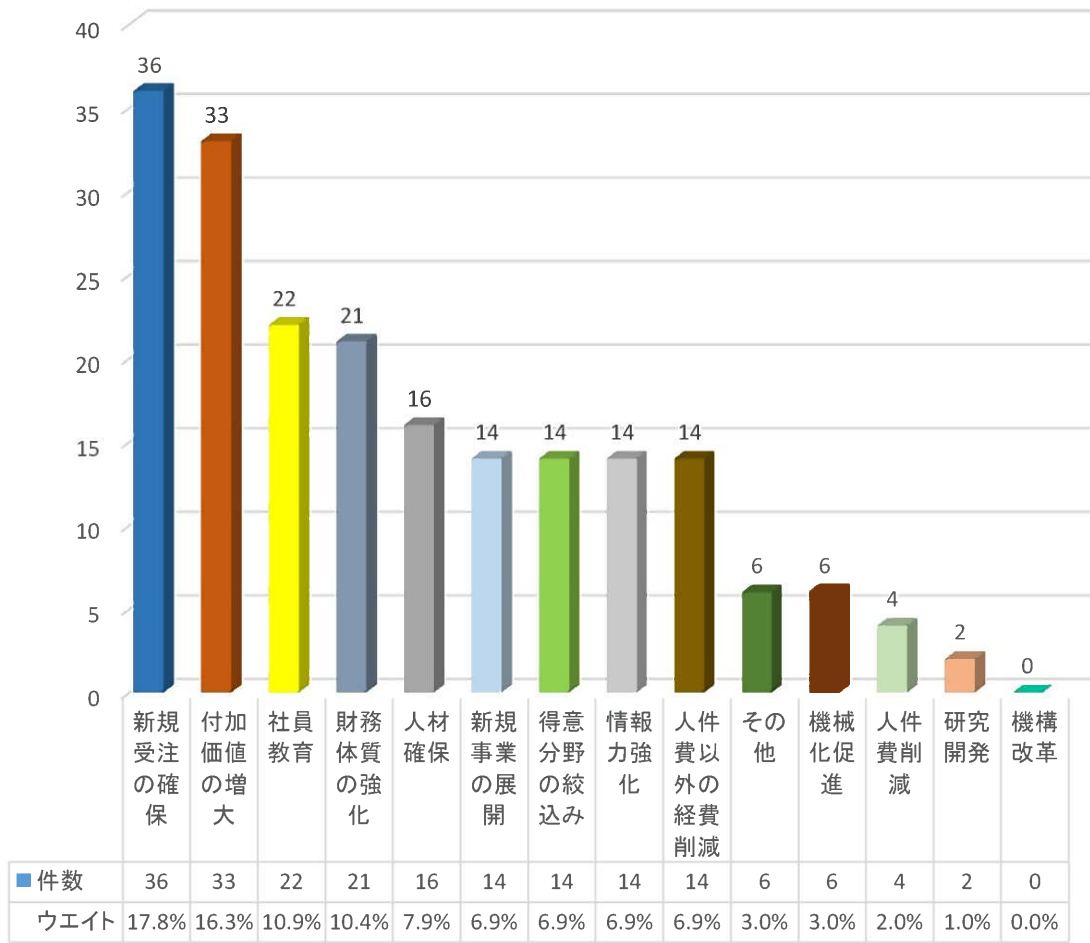
コロナウイルスの影響  
 コロナによるイベント中止、広告中止  
 コロナによる営業自粛による連鎖  
 コロナウイルス  
 短期戦力化マニュアル&訓練の改良  
 コロナウイルスによる、着工の遅れ等  
 新型コロナの影響

経営上の問題点推移（景気動向調査第52回～56回）



	52回	53回	54回	55回	56回
従業員の不足	24.0%	23.7%	22.8%	22.9%	8.7%
人件費の増加	14.4%	16.0%	13.0%	17.0%	10.4%
価格競争の激化	10.4%	13.0%	13.0%	11.2%	12.7%
売上減少	8.0%	8.3%	12.0%	12.8%	29.5%
受注競争の激化	15.2%	8.9%	12.0%	11.2%	11.0%
仕入れ価格の上昇	14.4%	7.7%	12.0%	10.1%	3.5%
間接費の増加	4.0%	7.1%	4.9%	4.3%	4.6%
税負担の増加	2.4%	4.1%	4.9%	4.3%	7.5%
その他	4.0%	6.5%	3.8%	5.9%	9.2%
事業資金の借入難	1.6%	4.1%	1.6%	0.5%	1.7%
金利負担の増加	1.6%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%

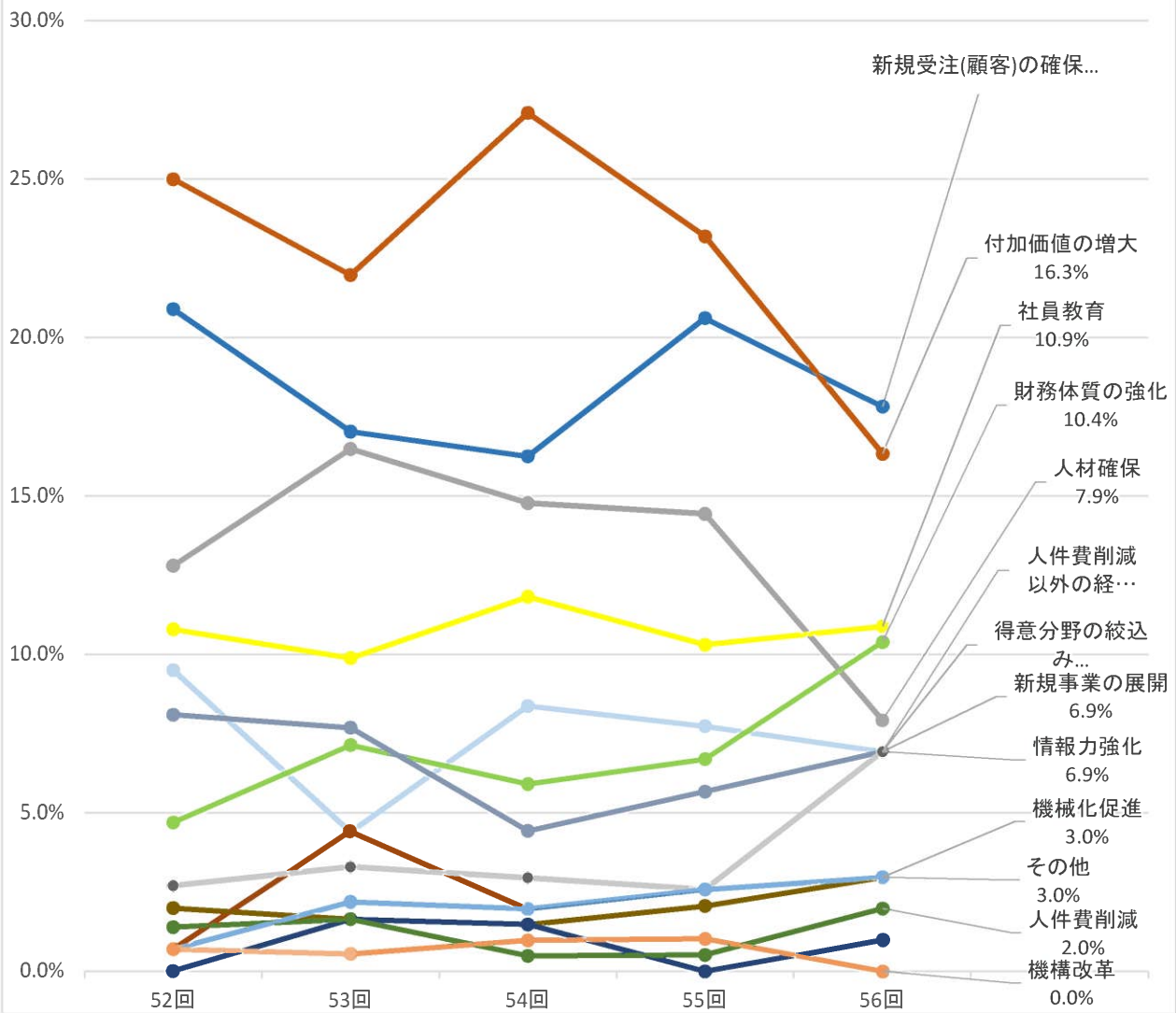
## 経営上の力点



	件数	ウエイト
新規受注の確保	36	17.8%
付加価値の増大	33	16.3%
社員教育	22	10.9%
財務体質の強化	21	10.4%
人材確保	16	7.9%
新規事業の展開	14	6.9%
得意分野の絞込み	14	6.9%
情報力強化	14	6.9%
人件費以外の経費削減	14	6.9%
その他	6	3.0%
機械化促進	6	3.0%
人件費削減	4	2.0%
研究開発	2	1.0%
機構改革	0	0.0%

**その他** 売上の増加  
 営業力強化  
 仕組み作り  
 業務効率化、テレワーク対応  
 働きやすい環境作り  
 短期戦力化マニュアル&訓練の改良

経営上の力点推移（景気動向調査52回～56回）



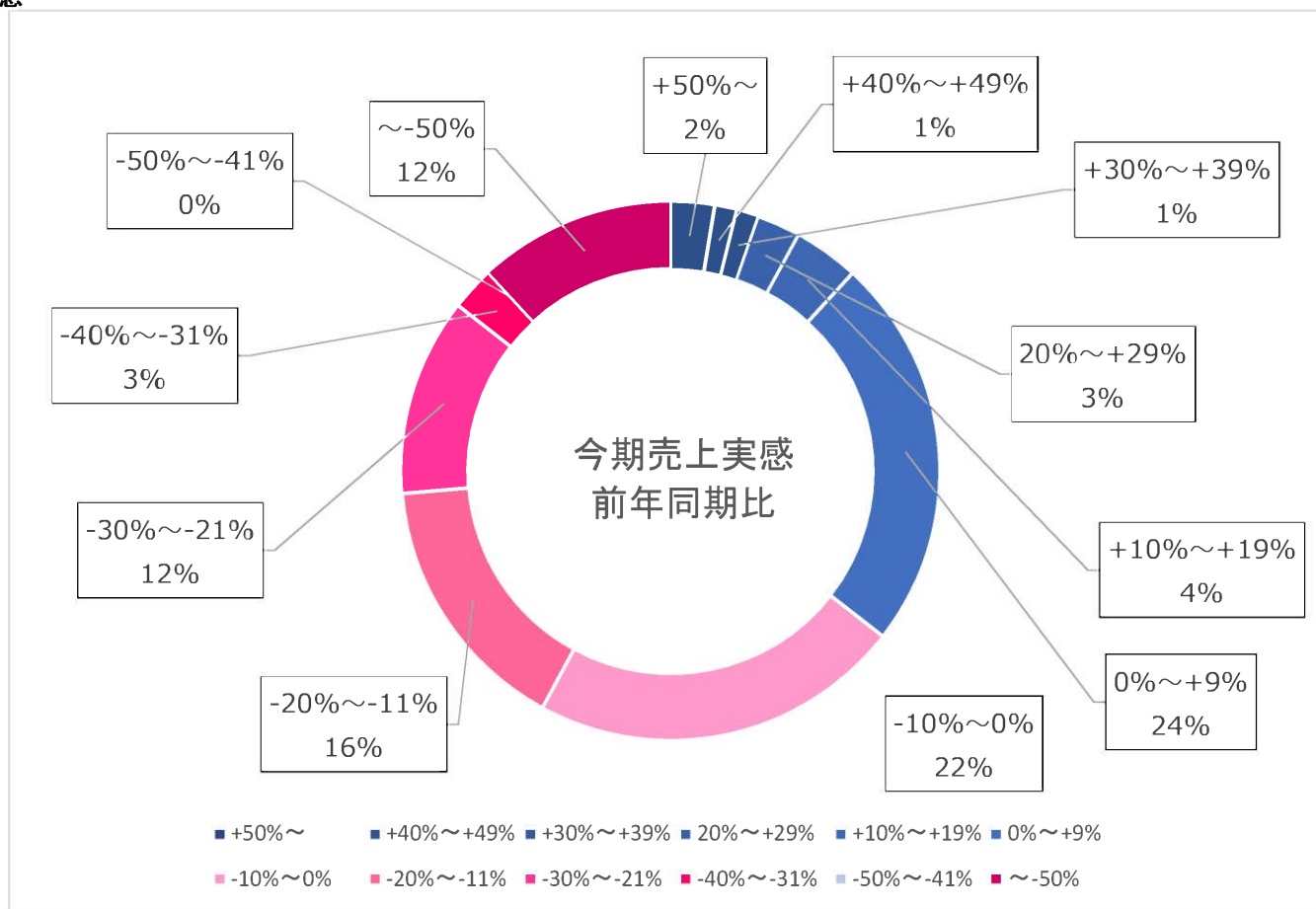
カテゴリー	52回	53回	54回	55回	56回
新規受注(顧客)の確保	20.9%	17.0%	16.3%	20.6%	17.8%
付加価値の増大	25.0%	22.0%	27.1%	23.2%	16.3%
人材確保	12.8%	16.5%	14.8%	14.4%	7.9%
社員教育	10.8%	9.9%	11.8%	10.3%	10.9%
新規事業の展開	9.5%	4.4%	8.4%	7.7%	6.9%
財務体質の強化	4.7%	7.1%	5.9%	6.7%	10.4%
得意分野の絞込み	8.1%	7.7%	4.4%	5.7%	6.9%
人件費削減以外の経費削減	0.7%	4.4%	2.0%	2.6%	6.9%
情報力強化	2.7%	3.3%	3.0%	2.6%	6.9%
機械化促進	2.0%	1.6%	1.5%	2.1%	3.0%
研究開発	0.0%	1.6%	1.5%	0.0%	1.0%
人件費削減	1.4%	1.6%	0.5%	0.5%	2.0%
その他	0.7%	2.2%	2.0%	2.6%	3.0%
機構改革	0.7%	0.5%	1.0%	1.0%	0.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



設問(1)-2 前年同期比今期売上実感

	軒数	シェア
+50%~	2	2.6%
+40%~+49%	1	1.3%
+30%~+39%	1	1.3%
20%~+29%	2	2.6%
+10%~+19%	3	3.9%
0%~+9%	18	23.7%
-10%~0%	17	22.4%
-20%~-11%	12	15.8%
-30%~-21%	9	11.8%
-40%~-31%	2	2.6%
-50%~-41%	0	0.0%
~-50%	9	11.8%

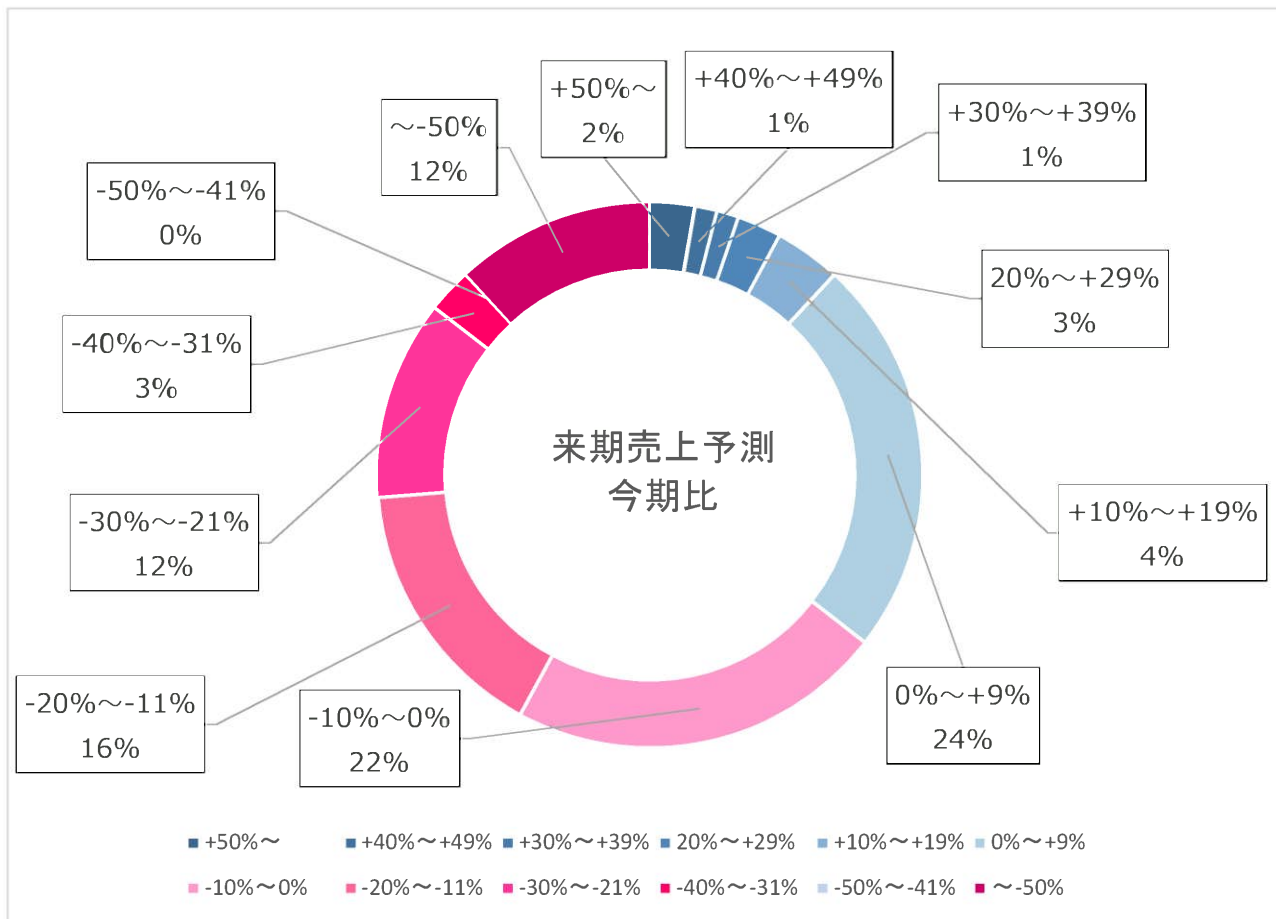
76



設問(1)-2 今期比来期売上予測

	軒数	シェア
+50%~	2	2.6%
+40%~+49%	1	1.3%
+30%~+39%	1	1.3%
20%~+29%	2	2.6%
+10%~+19%	3	3.9%
0%~+9%	18	23.7%
-10%~0%	17	22.4%
-20%~-11%	12	15.8%
-30%~-21%	9	11.8%
-40%~-31%	2	2.6%
-50%~-41%	0	0.0%
~-50%	9	11.8%

76



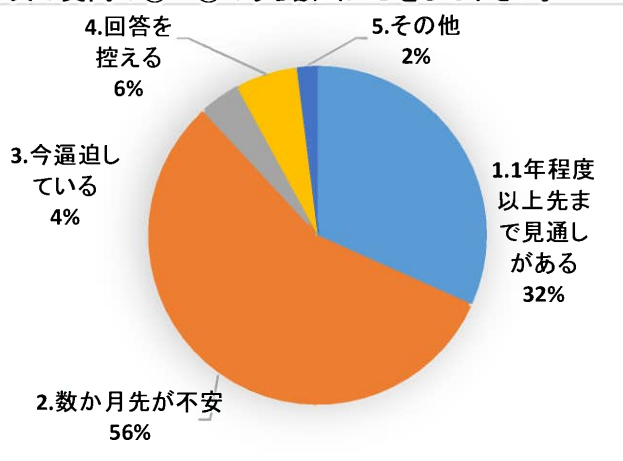
新型コロナ自粛等の影響を受けて経営判断として、次の質問の①～⑤のうち該当に○をして下さい。

1. 資金余裕度について

1.1年程度以上先まで見通しがある	32	31.7%
2.数か月先が不安	57	56.4%
3.今逼迫している	4	4.0%
4.回答を控える	6	5.9%
5.その他	2	2.0%
	101	100.0%

【その他】

- ・ 半年位は準備がある。

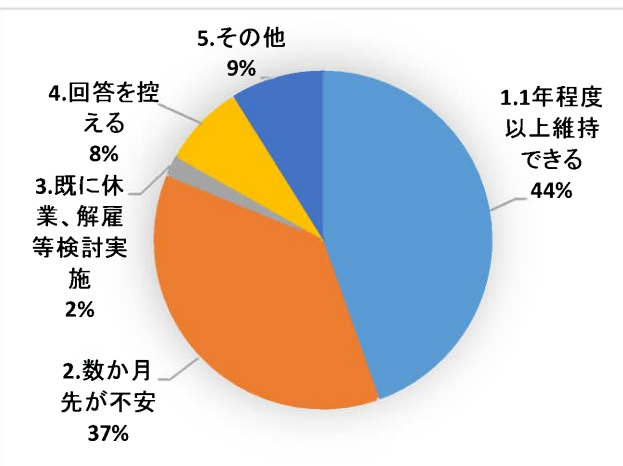


2. 雇用維持について

1.1年程度以上維持できる	45	44.6%
2.数か月先が不安	37	36.6%
3.既に休業、解雇等検討実施	2	2.0%
4.回答を控える	8	7.9%
5.その他	9	8.9%
	101	100.0%

【その他】

- ・ 個人のため
- ・ 一人企業
- ・ 最悪、現業種での稼働不可になったら期間限定業種替え、万が一資金ショート寸前まで追い込まれた場合の最終手段迄全スタッフと共有済み。
- ・ 一人企業
- ・ 雇用無し
- ・ 休業している 解雇は考えていないがいつまで休業が続くか...

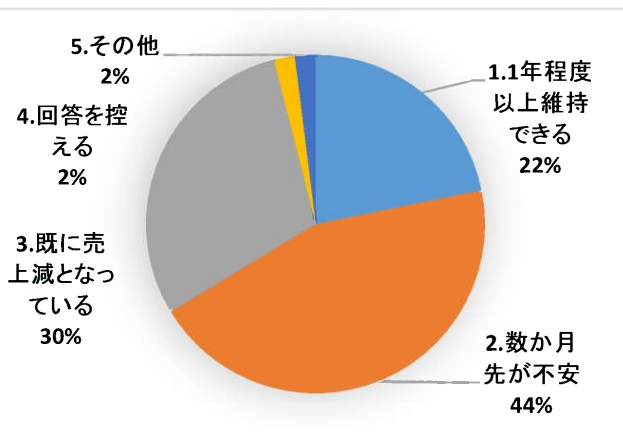


3. 当面の売上について

1.1年程度以上維持できる	22	21.8%
2.数か月先が不安	45	44.6%
3.既に売上減となっている	30	29.7%
4.回答を控える	2	2.0%
5.その他	2	2.0%
	101	100.0%

【その他】

- ・ 色んな影響に対し対策を実践し約半年分は確保

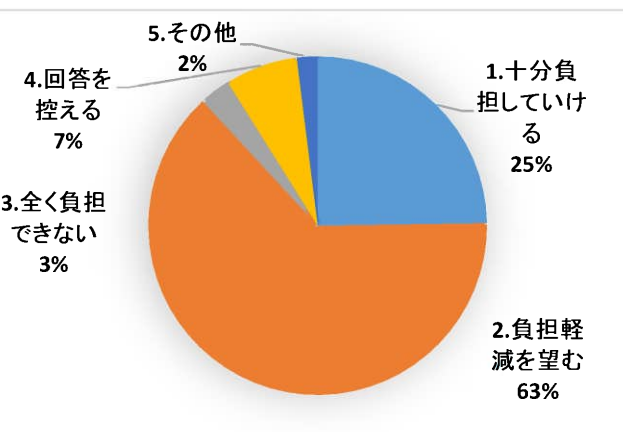


4. 当面の税負担について

1.十分負担していける	25	24.8%
2.負担軽減を望む	64	63.4%
3.全く負担できない	3	3.0%
4.回答を控える	7	6.9%
5.その他	2	2.0%
	101	100.0%

【その他】

記載なし



市民、他の企業家、当会、行政等に対して、伝えたいメッセージ(連帯、要望等)を、一言お願い致します。

- ・国策が振れずに実施して欲しい。間違いは早めに認めて次の対策を実行して欲しい
- ・皆様、この状況をどのように乗り越えようかとされているのか情報をいただきたく思います。
- ・キャリアコンサルタントとして、メンタル面や就職活動の面で、会員の皆様の力になればと考えております。ピンチをチャンスに出来るように、いっしょにがんばりましょう。
- ・運転資金内部留保など今は大丈夫ですが、そうでない同友会の仲間が半数以上います。早急な資金補助と年をまたいでの援助がとても大切です。日本の経済を支えているのは他ならぬ中小企業経営者と社員たちですから。
- ・こういった不測の事態に行政と中小企業と連携してどんな対応策を打てるか平時から検討しておく必要がある。
- ・企業倒産は市、県の財政悪化。行政は知恵を出すべき。(補償、辞退、努力)同友会には会員(飲食店等)の現在のサービス(テイクアウトや割引)の案内を全会員に周知。
- ・本当の感染者(治った人を除く)の発表がほしい。
- ・頑張りましょう！！
- ・お互いさまの気持ちで行動する
- ・①私の持論「人間の身体と経営は同じ」健康を維持し体力をつける事が重要②危機の時「リーダーの人間力」が問われる③コロナ後の変化に対応する
- ・みなさんががんばりましょう。
- ・社会全体の変化に合わせた企業体質の強化に取り組む時期と考え、同友会の委員会活動で学んで来たことを経営に活かすべく実践していく決意です。会員皆でカンバリましょう！
- ・行政に対してスピード感を早くしてください。
- ・家賃、社会保険の軽減があれば安心感が増すと思う
- ・毅然とした態度で経営の安定と発展に努めたい。
- ・雇用調整助成金の煩雑さ、変更の多さ、零細企業には難しい、持続化給付金のようなシンプルで思い切った給付をした方が良い
- ・いろいろと知恵を頂きたいです。
- ・書類の簡略化、スピードと先々の明るい材料があれば、乗り越えられる気力が持ち続けられます。見通しが無いのが、一番不安だと思います。
- ・こんな時こそ助け合いの精神で！1社も潰させない具体的行動をとる。
- ・コロナが終息したらV字回復するだろうか？そこがわからないから、特別融資を受けても、返済が不安。
- ・無利子・無担保の借入のスピーディー化、金融支援の強化。
- ・感染拡大予防策の目的で一部社員を休業させている場合にも給付金・休業補償等補助金を出してほしい。
- ・不安感しかない世論情勢となりますが、この時こそお互いに的確な情報共有をし乗り越えていきましょう
- ・越県対策等はとつたうえで、重症化リスクが高い人・接する人・は自粛等、経済を止めないで感染症拡大対策する手段はないだろうか？
- ・旧民主党政権時に公共事業の減少により長期間業績は下降の一途です。民間の工事も同様です。当社は新型コロナウイルス感染拡大に伴う売り上げの減少は現在ありませんが、今後については発注工事の減少が予想されると思います。
- ・消費税・固定資産税の軽減
- ・行政機関の施策はフルに活用すると同時に、自らの経営を振り返る必要がある。危機への備えは時間との戦いである。時間＝お金であり、どれだけ持ち堪えられるかが大事であり、そのための手当てを平時よりやっておくことが重要である。利益を出し内部留保を厚くできれば良いが、それが無理でもやることはある。金融機関との付き合い、法令遵守など、真つ当な経営をやっていれば策はある。そうでなかったら今こそ反省し、次に備えるべきである。
- ・皆さん休業などの経営不安の中でお過ごしだと思います。当社としても徐々に仕事の数が減っている状態です。これから影響が出てくると思いますが現在は大丈夫です。お互いに本当に必要な事は本人にしかわかりません。率直なご意見等を発信して頂き、何かできることはないかお互いに考えて協力していきたいです。
- ・業界や地域を越えて日本国民全員で苦難を乗り越えましょう！
- ・各業種に合った補助が必要ではないかと思えます
- ・政治家の自主的な給与の返納
- ・行政の一刻もはやく終息を出来るように緊急事態宣言の再強化と中小企業に対する更なる支援をお願いしたい。
- ・私たち中小企業の殆どが、かなり深刻なレベルで売り上げ減になることは必至です。BCP対策として徹底的にコストを押さえた事業計画を作り踏んばるしかありません。中小企業の存続は地域経済にとって最重要課題です。行政マン(公務員)の報酬を含め、不要不急の支出などのコスト削減を徹底的に行い、中小企業の事業支援に最大限努めていただきたい。
- ・自制と自粛を通じて今後の事業継続を考える機会と捉え、同友会全体で連帯を深める必要があると考える。今こそ相互理解と連携で支え合う時だと思う。そのためにも、会員各社を繋ぐコーディネーターとなるべき役割(人・仕組み)が必要だと思う。